

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	荒川区区政改革懇談会	部課名	総務企画部総務企画課	課長名	小林 直彦
		担当者名	中野・親川	内線	2112
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	区政改革懇談会（01-06-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	17 年度	根拠	区政改革懇談会設置要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			
	施策	区民参画・協働の推進[13-01]			
目的	区民の区政参画の機会を拡大するため、幅広く区民から意見を聴くとともに、区政に関する政策提言を受ける。				
対象者等	区民(公募により委嘱した区政改革懇談会委員)				
内容	<p>【第1期】平成17～18年度、委員数約70名                      実施内容                      （平成17年度）荒川区の将来像について、世代・ライフスタイル別の6グループで検討・提言                      （平成18年度）「地域活性化・暮らしの安全分科会」「福祉・健康・子育て分科会」「まちづくり・環境分科会」「教育分科会」の4グループで、各施策別の具体的な検討・提言</p> <p>【第2期】平成19年度～、委員数50名（平成21年度は41名）                      テーマ 地域のコミュニティ力をいかに高めるか                      実施内容                      （平成19年度）今後の懇談会の進め方や地域コミュニティの現状と課題について議論                      （平成20年度）防犯、福祉、子育てにかかわる地域のコミュニティ力について、地域別グループで検討・提言                      （平成21年度）平成20年度の提言を基に、「地域の人材がコミュニティに参加するきっかけづくり」「地域の資源と地域の課題をコーディネートする仕組みと場づくり」「地域組織の連携と活性化のための仕組みづくり」の3グループに分かれ、区民が主体的に取り組むための企画を検討し、平成22年3月までに区へ提案を行う予定</p>				
経過	<p>【第1期】平成 16年度 実施検討                      平成17年 6月 委員公募                      7月 委員選考、17年度第1回懇談会開催                      平成18年 2月 最終報告会開催(区長へ提言書提出)                      5月 18年度第1回懇談会(分科会)開催                      平成19年 3月 活動・提言報告会開催(区長へ提言書提出)</p> <p>【第2期】平成19年10月 委員公募・選考                      12月 19・20年度第1回懇談会開催                      平成21年 3月 提言報告会開催(区長へ提言書提出)                      5月 21年度第1回懇談会開催(概ね月1回程度開催予定)</p>				
必要性	これまでの行政主体の施策を見直し、区民の視点から、区民の求める施策を検討し、実施する必要がある。そのために、幅広い区民から意見を聴き、政策提言を受ける必要性は高い。 また、区民との協働を推進し、区民の区政に関する意識の向上にも寄与することから必要性は高い。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） グループ討議の進行役は、コンサルタントが行う。（19～21年度委託業者（株）地域計画総合研究所）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額				2,930	3,336	4,518	5,579	5,597
決算額（21年度は見込み）				242	3,267	3,024	4,867	5,597
人件費				9,309	6,661	5,978	3,812	
【事務分担量】（%）				108	78	70	45	
合計（+）		0	0	9,551	9,928	9,002	8,679	5,597
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		0	0	9,551	9,928	9,002	8,679	5,597
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	懇談会開催数			45	29	3	10	10

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	託児	6	託児	26	託児	102
	食糧費	賄い	18	賄い	208	賄い	262
	一般需用費	消耗品費	0	消耗品費	0	消耗品費	30
	役務費	郵送料	0	郵送料	0	郵送料	0
	委託料	運営支援委託等	2,969	運営支援委託等	4,518	運営支援委託等	5,079
	使用料	会場使用料	33	会場使用料	115	会場使用料	124

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
	委員の懇談会参加率	46%	69%	53%	70%	80%	

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会における議論をより深めるため、委員の参加率を向上させる工夫が必要である。</li> <li>・区政懇の参加をきっかけとして、懇談会の委員や委員であった者が地域活動を行うことができるような側面支援が必要である。</li> <li>・懇談会の委員自らが会議運営をできるような仕組みづくりが必要である。</li> <li>・22年度以降の懇談会の方向性について検討する必要がある。</li> </ul>
他区の実況	（実施区                      未実施区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
委員や委員であった方を対象としたファシリテーション講座や地域活動講座等を実施し、自主的な会議運営や地域活動に向けた支援を行う。	より自律的な取組を支援することにより、地域活動等に積極的に取り組む気運が高まる。
実際に地域活動をしている方へのヒアリングや意見交換の場を設ける等の工夫をし、地域活動の実践に向けたきっかけとする。	懇談会における議論がより深まるとともに、地域活動等に積極的に取り組む機運が高まる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民参画・協働を促進する手段の一つとして、運営方法に工夫を凝らしながら引き続き実施していく。

議（要質問） 況（旨状）	<p>H18年三定 団塊の世代及びシニア世代の区民が、行政との協働の担い手として活躍してもらうために区ができること</p> <p>H19年二定 区民参画について</p>
-----------------	--

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	団塊の世代を中心とした地域活動の促進	部課名 担当者名	総務企画部総務企画課 谷井・後藤	課長名 内線	小林直彦 2115
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	地域活動の推進（01-02-02）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18 年度	根拠 法令等	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価 事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			
	施策	区民参画・協働の推進[13-01]			
目的	団塊の世代の大量退職の時期を迎え、これらの人的資源を区政運営に生かす仕組を整備するとともに、区民の地域活動を支援し、区民参画と協働の推進を図る。				
対象者等	定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民				
内容	<p>荒川区地域活動支援事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 団塊の世代を中心とする区民対象の地域活動支援事業を実施する団体に対して、当該事業の実施に要する費用の一部を区が補助することにより、団塊の世代を中心とする区民の地域活動を支援し、もって地域の活性化に資することを目的とする。</li> <li>・補助対象団体 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会</li> <li>・補助対象事業 荒川ボランティアセンターの分室である地域活動サロン「ふらっと・フラット」が実施する、団塊世代を中心とする区民対象の事業</li> </ul> <p>団塊世代活動支援コーナー（区役所本庁舎2階に窓口を設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所・日時 区役所本庁舎2階（情報提供コーナーに併設） 月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分</li> <li>・対象 ボランティア活動や短期的・長期的な就労等、地域活動への参加を考えている区民</li> <li>・主な業務内容 情報提供、担当部署や関係機関への取次、紹介、その他相談業務</li> <li>・関係機関との連携 ボランティアセンター、ふらっと・フラット、荒川区シルバー人材センター、JOBコーナー町屋等</li> </ul>				
経過	<p>平成17年度～ 検討</p> <p>平成18年度～ ハローワーク足立、東京しごと財団等関係機関調査、先進自治体視察 「団塊の世代の今後の就業等に関するアンケート調査」実施（19年1月、区内1000サンプル）</p> <p>平成19年度 荒川区地域活動支援事業補助金要綱制定、補助金交付（7,926千円） 11月 団塊世代活動支援コーナー開設、関係機関連絡会の開催（2回）</p> <p>平成20年度 団塊世代活動支援コーナーの周知（区営掲示板へのポスター、区報、ホームページなど） 南千住図書館との連携（団塊世代の図書特集を開催・平成21年1月～3月） 関係機関連絡会の開催（2回）、補助金交付（5,932千円）</p>				
必要性	人的資源価値を持つ団塊の世代の活躍の場について、仕組をつくることにより、団塊の世代本人の自己実現や地域の活性化に繋がることからその必要性は高い。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動専門相談員による団塊世代活動支援コーナーにおける相談・取次</li> <li>・荒川区地域活動支援事業補助金の交付（H21年度予算額 7,112千円）</li> </ul>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額		-	-	2,043	17,291	10,283	11,240	
決算額（21年度は見込み）		-	-	1,512	9,906	9,344	11,240	
人件費				6,661	3,501	4,135		
【事務分担量】（%）				78	41	120		
合計（+）	0	0		8,173	13,407	13,479	11,240	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0		8,173	13,407	13,479	11,240	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	荒川区地域活動支援事業補助金交付額			-	-	7,926	5,932	7,112

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
報償費	地域活動専門相談員報酬		1,523	地域活動専門相談員報酬	3,046	地域活動専門相談員報酬	3,166
	地域活動専門相談員共済費		181	地域活動専門相談員共済費	366	地域活動専門相談員共済費	372
	地域活動専門相談員特別旅費		1	地域活動専門相談員特別旅費	0	地域活動専門相談員特別旅費	8
	地域活動支援コーナー消耗品		85			区報特集号作成費	582
	地域活動支援コーナー備品		190				
	地域活動支援事業補助金		7,926	地域活動支援事業補助金	5,932	地域活動支援事業補助金	7,112

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標	団塊世代活動支援コーナー受付数（件）	-	57	263	280	300	平成19年11月1日開設 1か月あたり25件を目標とする
	ふらっと・フラットの利用者数（人）		886	1,907	2,000	2,160	平成19年9月12日開設 1か月あたり150人を目標とする

問題点・課題 (指標分析)	<p>団塊世代の大量退職の問題は、雇用延長等の実現により、現時点では顕在化しておらず、団塊世代活動支援コーナーへの相談数も少ない状況にある。また、相談の内訳をみると就業相談が多く、地域活動に関する相談が少ない状況である。そのため、実際の大量退職期といわれる2012年に向けて、情報収集、コーナーの一層の周知活動、コーナーの機能強化等が求められる。現在のコーナーについて、相談機能に合わせて情報発信、周知の徹底に向けて見直していく必要がある。</p> <p>団塊世代の方を今後どのように活用するか、区としてどのような事業を展開するべきかを見極める必要がある。社会教育課の「（仮称）あらかわ地域大学」との連携を図る。</p> <p>ふらっと・フラットは、曜日や時間帯によって利用者数の変動が大きいことから、より多くの区民に活用してもらうことを通じて、地域活動の促進を図ることができるような取組が必要である。</p>
	<p>他区の実施状況</p> <p>（実施 5 区 未実施 17 区）</p> <p>足立区 「団塊世代情報サイト」（協働推進課による単独のホームページを運営） 世田谷区 「生涯現役プロジェクト」（生涯現役推進課によるホームページ運営やワークショップの実施など） 杉並区 団塊世代のキャリアプランに係るコーディネートする事業を推進する計画していたが、社会環境の変化に伴い事業趣旨がそぐわなくなった為、計画を終了している（杉並区ホームページから）</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区報、ホームページ、チラシ等により、団塊世代活動支援コーナーの存在を広く周知していく。特にホームページの内容を充実し、情報発信する。	団塊世代活動支援コーナーへの相談数の増加
地域活動サロン「ふらっと・フラット」と連携を図り、団塊世代を対象とした事業を展開していく。	団塊の世代を中心とする区民の地域活動を支援し、もって地域の活性化に資することができる。
社会教育課事業との連携を図り、団塊世代を今後どのように活用するか検討していく。	「（仮称）あらかわ地域大学」で得た知識やネットワーク等を地域活動へ活かすことができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	地域の人財を地域活動等に有効に活用するため、引き続き推進していく。

議会議決要旨	<p>H17・三定：団塊世代の地域活動の支援として、市民活動基金の創設を</p> <p>H18・四定：団塊の世代の受け皿づくりと区の役割について</p> <p>H19・二定：団塊の世代を始めとする中高年の社会参加に向けた受け皿整備を</p> <p>H20・四定：団塊世代の参画を積極的に推進すべき</p>
--------	--

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	区功労者表彰	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	小倉 裕司	内線	2005
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	区功労者表彰（01-05-01）				
事務事業の種類	新規事業（21年度 20年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	35年度	根拠	荒川区表彰規則
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区表彰要綱
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			
	施策	区民参画・協働の推進[13-01]			
目的	区の振興・発展に特に功労があった者の実績をたたえることにより、区民の福祉の増進に資することを目的とする。（荒川区表彰規則第1条） 区の振興・発展に特に功労があった者に対して、その功績をたたえ、区民の「ふるさと意識」を高めようとするもの				
対象者等	顕著な功績または模範として、推奨するにふさわしい業績もしくは善行のあった者 （平成15年度）138名（平成16年度）140名（平成17年度）172名（平成18年度）160名 （平成19年度）160名（平成20年度）121名				
内容	1 区功労実施内容[被表彰者数：121名（一般110名、活動4名、特別7名）] (1)日 時 平成20年11月26日 午前11時～（平成19年度は11月14日に実施） (2)場 所 ホテルラングウッド 2階 ラングウッドルーム 式典・祝宴 (3)招待者 特別来賓者 区議会正副議長・衆議院議員・都議会議員・区内官公署長等 一般来賓者 推薦者・区議会議員・行政委員等 (4)表彰式 表彰状、記念品の授与（東京芸術大学による演奏あり） 記念品：漆塗おはしペアセット（一般、活動）、銀製スプーン、フォーク、ナイフセット（特別功労） 2 議員表彰実施内容[被表彰者数：4名（一般3名、特別1名）] (1)日 時 平成19年10月17日 午後4時～ (2)場 所 区長応接室 (3)招待者 なし (4)表彰式 表彰状、記念品の授与 記念品：扇子ペアセット（一般）、竹製・花かご（特別功労）				
経過	昭和60年度 表彰規則・要綱の一部改正（被表彰対象者の拡大） 平成3年度 表彰規則・要綱の一部改正（区議会議員表彰基準の改正により特別功労者表彰の実施） 平成6年度 表彰規則の一部改正（要綱の廃止、制定 分野別表彰実施） 平成9年度 会場をサンパールからセレス西日暮里に変更 平成12年度 表彰規則・要綱の一部改正（題名及び組織改正による表彰区分の改正） 平成14年度 表彰規則・要綱の一部改正（特別賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 平成17年度 表彰規則・要綱の一部改正（活動賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 荒川区交響楽団による弦楽四重奏を実施 平成18年度 会場をセレス西日暮里からホテルラングウッドへ変更（セレス西日暮里がメモリアルホールとなったため）記念品を荒川ブランドの品物に変更 平成20年度 東京芸術大学による弦楽四重奏を実施				
必要性	区の振興・発展に特に功労があった者の実績をたたえ、区民の福祉を増進するため必要である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	予算額	5,499	4,754	8,362	5,336	5,372	4,395	5,395
	決算額（21年度は見込み）	5,498	4,309	5,980	5,031	5,068	4,049	
	人件費			690	854	854	847	
	【事務分担当】（%）			8	10	10	10	
	合計（+）	5,498	4,309	6,670	5,885	5,922	4,896	0
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
一般財源	5,498	5,498	6,670	5,885	5,922	4,896	0	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	特別 自治 保健 地域	5 1 3 42	4 4 0 43	4 12 5 67	4 3 0 48	10 7 0 63	7 4 1 29	
	学校 商工 社教 街	11 7 14 0	6 8 12 0	3 4 13 0	5 9 21 1	5 2 14 3	7 0 29 2	
	文化 消防 環境 税務	10 7 4 3	9 10 8 4	12 4 6 4	13 6 5 3	25 2 5 3	12 3 1 4	
	善行 社福 無形 活動	1 30 0 -	0 31 1 -	1 31 1 5	3 34 1 4	2 15 1 3	3 14 1 4	

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	式典出演料一式	44	式典出演料一式	44	式典出演料一式	44
	食糧費						
	需用費	記念品	2,570	記念品	2,201	記念品	3,287
		記念バッチ	100	記念バッチ	64	記念バッチ	180
	印刷製本費	案内状等印刷	108	案内状等印刷	113	案内状等印刷	111
	役務費	表彰状等筆耕	180	表彰状等筆耕	134	表彰状等筆耕	280
	委託料	会場設営委託等	1,319	会場設営委託等	1,468	会場設営委託等	1,504

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	

（問題点・課題）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
在職年数や年齢制限を設けず、推薦は各所管が行なう「活動賞」を平成17年度に新設したので、各所管へ制度の周知徹底を図るとともに対象となる方々の把握に努める。	区への功績が多大であるが団体に属していない個人や一般功労に該当していなかった方々を推薦・表彰することで、より一層、区民福祉の増進に資することが期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	昭和35年から永年にわたって続けてきた制度であり、地域に広く定着しており、地域貢献等をなされている方々を表彰することにより、区として感謝と敬意を表するものである。また、区民の方々の自主的な地域活動等を進めるきっかけづくりとしても、続けることが必要である。

況議（要質問状）	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	新年祝賀会	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	幸野佳紀	内線	2004
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）	新年祝賀会（01-06-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成 不明年度	根拠			
終期設定	有 無	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野 計画推進のために[ ]				
	政策 区民の主体的な区政参画と連携強化[13]				
	施策 区民参画・協働の推進[13-01]				
目的	年頭に当たり、日頃、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者を招待し、区政への理解・協力を得ることを目的として開催する。				
対象者等	荒川区の発展に寄与している各界の代表者 平成17年度 招待者数 約1,624人 来場者数 約650人 平成18年度 招待者数 約1,638人 来場者数 約660人 平成19年度 招待者数 約1,659人 来場者数 約750人 平成20年度 招待者数 約1,633人 来場者数 約870人				
内容	(1)日時 毎年1月4日 11時～ (2)場所 ホテルラングウッド（ラングウッドルーム） (3)招待者 国・都・区議会議員、区内官公署長、行政委員、町会長、民生委員、保護司、その他の公共団体の長、区民栄誉賞受賞者、叙勲受章者、荒川区ゆかりの文化・スポーツ・芸能人等				
経過	区の発展に寄与していただいている各界の代表者を招待して実施している新年祝賀会への招待者数は、1,600名を超え（出席者は年650名～870名程度）で、新年祝賀会の現状からすると区内で対応できる会場は、ホテルラングウッドしかないことから、平成3年度から祝宴会場をサンパール荒川からホテルラングウッドに変更し、開催している。 平成17年から式典の開会に先立ち東京荒川少年少女合唱隊による合唱を、招待者からの祝辞の後に荒川区民交響楽団（20年度からは東京芸大）の弦楽四重奏を行うこととし、各界の代表が一堂に会する少ない機会を活かし、区民の文化活動をアピールする場を提供するという、従来の賀詞交換に加え新たな試みを実施した。				
必要性	荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者の区政への理解・協力を求めるために必要である。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ホテルラングウッドに会場設営等一式を委託				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
予算額	3,017	3,141	2,936	3,260	3,104	3,325	3,325	
決算額（21年度は見込み）	2,990	3,101	2,894	2,897	2,991	3,325	3,325	
人件費			431	427	427	424		
【事務分担当】（%）			5	5	5	5		
合計（+）	2,990	3,101	3,325	3,324	3,418	3,749	3,325	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	2,990	3,101	3,325	3,324	3,418	3,749	3,325	
実績の推移	事項名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	来場者数（人）	630	600	650	660	750	870	
	招待者数（人）		1,538	1,624	1,638	1,659	1,633	
	出席率（%）（÷×100）		39.0	40.0	40.3	45.2	53.3	

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成19年度（決算）		平成20年度（決算）		平成21年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	報償費	手話通訳・出演者謝礼	80	手話通訳・出演者謝礼	80	手話通訳・出演者謝礼	150
	一般需用費	新年祝賀会案内状	36	新年祝賀会案内状	55	新年祝賀会案内状	63
	委託料	祝賀会会場設営委託	2,875	祝賀会会場設営委託	3,092	祝賀会会場設営委託	3,112

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区） 会費制実施（江東区、板橋区、足立区、新宿区、練馬区、豊島区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	荒川区の発展に寄与していただいている各界・各層の代表者の区政への理解・協力を得るために必要である。

議会議決要旨	平成21年度 新年祝賀会に会費制を導入すべき
--------	------------------------